

EAT通信 5月

平成25年
和歌山市立有功小学校

主食のたいせつさを見直そう

ご飯、パン、めんなどの主食は、わたしたちの生命をたもつ基本的な食べ物で、昔からわたしたちが毎日食べている大切なものです。

おかげばかり食べて、主食を残す人がいます。「自分だけなら残してもいいかな…」「少しだけなら残してもいいかな…」などという考え方の子どももいます。

そこで、あらためて主食の大切さを見直してみましょう。

1. 主食はエネルギーの供給源です

主食は、わたしたちが1日に食べ物からとっているエネルギーの約40パーセントを占めています。

2. 栄養のバランスがとれています

わたしたちの主食としている食べ物は食べる量が多いので、たんぱく質やビタミン類をたくさんとることができ、主食、おかずをいっしょにとることで栄養のバランスが整います。

3. 主食のたんぱくな味があかずのおいしさを引き出します

主食の、米、パン、めん類は、味がたんぱくなでおかずのいろいろな味をひきたて、おいしさを高めます。

主食を残すと…

主食からとれるはずの栄養が不足するので、栄養のバランスがくずれ、当然エネルギーも不足します。

主食とおかずを

かわるがわる食べると…

全部の量が食べられなくて多少残すことになっても、栄養のバランスがくずれません。おかずを一品ずつたいらげるということないようにしましょう。



きほんてきなもの

たもの

のうじゆ

のうじゆ